令和8年度予防接種基礎講座
2026年9月18日（金）

予防接種の間違いを予防するための工夫

本日の内容

１．予防接種間違いの状況

２．予防接種間違い防止のための工夫

国立健康危機管理研究機構
国立感染症研究所 予防接種研究部　森野 紗衣子

１．予防接種間違いの状況

２．予防接種間違い防止のための工夫

予防接種間違い（誤接種、接種事故）

✓期限切れワクチンの接種

✓接種量・接種間隔、接種方法の誤り

✓接種予定外のワクチンの接種

✓集団接種時の接種漏れや2回接種　…etc.

⇒ **法令や添付文書等の規定と異なる接種**

定期接種について法令等で定められていること

【予防接種法】

対象疾病（Ａ類、Ｂ類） など

【予防接種法施行令】

定期接種の対象者（**接種年齢**） など

【予防接種法施行規則】

接種対象除外者（発熱など）、予防接種後**副反応の報告基準** など

【予防接種実施規則】

接種方法（接種間隔、接種回数、接種経路）、**接種量** など

【定期接種実施要領】

標準的な接種年齢、接種間隔 など

定期接種実施要領 令和8年6月1日改正

https://www.mhlw.go.jp/content/001708680.pdf
（厚生労働省「予防接種・ワクチン情報ページ」）

第１ 総論

1 予防接種に関する記録の管理
2 対象者等に対する周知
3 予防接種実施状況の把握
4 予防接種に関する周知
5 接種の場所
6 接種液
7 予防接種の実施計画
8 対象者の確認
9 予診票
10 予診並びに予防接種不適当者及び予防接種要注意者
11 予防接種後副反応等に関する説明及び同意
12 接種時の注意
13 Ａ類疾病の定期接種を集団接種で実施する際の注意事項
14 医療機関以外の場所で定期接種を実施する際の注意事項
15 実費の徴収
16 予防接種に関する記録及び予防接種済証の交付
17 都道府県の麻しん及び風しん対策の会議への報告
18 他の予防接種との関係
19 長期にわたり療養を必要とする疾病にかかった者等の定期接種の機会の確保
20 他の市町村等での予防接種
21 予防接種の間違い
22 副反応疑い報告
23 「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」における予防接種分野の対応
24 厚生労働大臣への情報提供

第２ 各論

1 ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風及びＨｉｂ感染症の定期接種
2 麻しん又は風しんの定期接種
3 日本脳炎の定期接種
4 結核の定期接種
5 小児の肺炎球菌感染症の定期接種
6 ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種
7 水痘の定期接種
8 Ｂ型肝炎の定期接種
9 ロタウイルス感染症の定期接種
10 RSウイルス感染症の定期接種
11 高齢者の肺炎球菌感染症の定期接種
12 インフルエンザの定期接種
13 新型コロナウイルス感染症の定期接種
14 帯状疱疹の定期接種

予防接種間違い事例の報告について

2013年度から
定期接種実施要領に「**予防接種時の事故の報告**」が追加

重大な健康被害につながる
おそれのある事故

・誤った用法用量
・有効期限切れ　など

(1) 予防接種を実施した機関
(2) ワクチンの種類、メーカー、ロット番号
(3) 予防接種を実施した年月日（間違い発生日）
(4) 事故に係る被接種者数
(5) 事故の概要と原因
(6) 市町村長の講じた間違いへの対応（公表の有無を含む。）
(7) 健康被害発生の有無（健康被害が発生した場合は、その内容）
(8) 今後の再発防止策
(9) 市町担当者の連絡先

⇒ 速やかに報告（上記項目を任意様式）
（市町村→都道府県→厚生労働省）

重大な健康被害につながる
可能性が低い事故

・接種間隔の誤り　など

毎年4月1日～翌年3月31日までに
発生した事故の様態ごとの件数

⇒ 毎年4月30日までに報告
（市町村→都道府県→厚生労働省）

2013～2021年度　定期予防接種に係る予防接種間違い報告

	報告件数合計	うち、血液感染の可能性があった間違い
2013年度 ※1	4,596件	6件
2014年度 ※2	5,685件	14件
2015年度 ※3	6,168件	8件
2016年度 ※4	6,602件	11件
2017年度 ※5	7,787件	11件
2018年度 ※6	6,674件	10件
2019年度 ※7	6,041件	10件
2020年度 ※7	5,774件	9件
2021年度 ※7	5,118件	6件

※1 第10回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（2014年7月16日開催）資料より

※2 第7回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会（2015年10月29日開催）資料より

※3 第10回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会（2016年10月31日開催）資料より

※4 第12回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会（2017年10月6日開催）資料より

※5 第32回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（2019年8月7日開催）資料より

※6 第41回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（2020年11月9日開催）資料より

※7 定期の予防接種に関する間違いについて（令和元～３年度分）資料より　https://www.mhlw.go.jp/content/001137401.pdf

最も多い接種間違いは・・・

接種間隔 の間違い

2019年度予防接種間違い報告

【参考：2019年度定期接種のべ接種回数　44,272,480回】

	間違いの態様	件数	全体割合	頻度（10万回あたり）
1	**接種間隔**の間違い	3,587	59.38%	8.10
2	**不必要な接種**（ただし任意接種だとしても、 医学的に妥当な説明と同意に基づくものであれば含めない）	912	15.10%	2.06
3	**有効期限切れワクチン**の使用	234	3.87%	0.53
4	**ワクチンの種類**の間違い（対象者誤認を除く）	159	2.63%	0.36
5	**接種量**の間違い	154	2.55%	0.35
6	**対象者誤認**	86	1.42%	0.19
7	**不適切な接種器具の扱い**（血液感染を起こしうるものを除く）	67	1.11%	0.15
8	**ワクチンの不適切な保管**	15	0.25%	0.03
9	**接種部位・投与方法**の間違い	12	0.20%	0.03
10	既に他の対象者に使用した針を使う等、接種器具の適切で ない取り扱いのうち **血液感染を起こしうるもの**	10	0.17%	0.02
11	その他（対象年齢外の接種、溶解液のみの接種など）	805	13.33%	1.82
	合　計	6,041	100%	

※定期の予防接種に関する間違いについて（令和元～３年度分）https://www.mhlw.go.jp/content/001137401.pdfより　一部改変

1）**接種間隔**の間違い事例

① 同じワクチン間

2011年全国市区町村を対象とした
アンケート用紙による
予防接種間違い事例の調査では、

約半数は同じワクチン間　の間違い

② 異なるワクチン間

③ その他（ワクチン種類不明）

※第32回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（2019年8月7日開催）資料の事例より

＜同じワクチン間の接種間隔に関する間違い実例＞

・ロタウイルスワクチン、PCV、DPT-IPV、Hibの同時接種に本来接種予定ではない **B型肝炎ワクチン3回目** を接種した

【医療関係者用】小児科学会が推奨する予防接種スケジュール

ワクチン		種類	乳児期									
			生直後	6週	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9-11か月
B型肝炎	ユニバーサル	不活化			①	②				③		
	母子感染予防		①	②					③			
ロタウイルス	1価	生			①	②	(注2)					
	5価				①	②	③					
肺炎球菌（PCV15、PCV20）		不活化			①	②	③					
５種混合（DPT-IPV-Hib）		不活化			①	②	③					

B型肝炎　3回目接種時期の間違いにご注意！

× 生後4か月

○1回目から139日後（20週）

（標準的には2か月から開始した場合、生後7-8か月）

日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール
2025年5月19日版　日本小児科学会
https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20250523_vaccine_schedule.pdf

接種間隔の規定

② 異なるワクチン間　　接種間隔の規定の変更（2020年10月1日～）



※ これまで通り、医師が必要と認めた場合、同時接種を行うことができます。

厚生労働省．ワクチンの接種間隔の規定変更に関するお知らせ　https://www.mhlw.go.jp/content/000674724.pdf

異なるワクチン同士の接種間隔の規定の変更に伴って

～ 今後の注意点 ～

同じ種類のワクチンの接種を複数回受ける場合、

ワクチンごとに決められた間隔を守る必要があります

＋

今後も　**注射生ワクチン同士**は**27日以上**

の接種間隔をあけます

新型コロナワクチンも他の不活化ワクチンと同様の扱いとなりました（2024年4月～）

2）**不必要な接種**の間違い事例

① **必要接種回数**の間違い　⇒ 接種開始時期による回数の違い

② 接種歴の**誤認**　⇒ 既に接種済みであったものを再接種

③ その他

①の例：PCVワクチンの1回目を生後7か月に接種したが、
初回3回・追加1回の合計4回接種した
⇒ 正しくは、初回2回・追加1回の合計3回接種

②の例：母子健康手帳の**日本脳炎第2期の接種歴記入欄が別ページ**にあることに
気づかず、第2期は未接種と思い接種したところ、既に接種済みであった

その他：・5か月前に**接種済み**であった**PPSV23**を再度接種した

・保護者が誤って妹の母子健康手帳を持参したため不必要な接種を行った

3）**有効期限切れワクチンの使用**の間違い事例

例①：昨シーズンの**インフルエンザワクチン**を接種した

例②：新型コロナワクチン（mRNAワクチン）を冷蔵庫にうつして解凍後、2～8℃での保管期間上限を超えて、バイアルに記載のあった有効期限に基づいて接種した

② 新型コロナワクチン

- 製剤別
- 保管状況別（保管温度変更後の使用期限あり）

⇒製剤外箱の“有効期限”と保管温度に基づく“使用期限”

いずれか短い方が実際の使用可能期間となる

4）**ワクチンの種類**の間違い事例

① **DT ⇔ MR**　⇒ 両方とも**２種の混合ワクチン**

② **Hib ⇔ PCV**

③ **PPSV23 ⇔ インフルエンザ**　⇒ **接種時期/対象者が類似**

④ その他　⇒ 準備，接種対象者の間違い　を伴う間違い

①の例：保護者から「**２混のワクチン**を接種してください」
と言われ、**MRワクチン**の予定であったが、
二種混合（DT）ワクチンを接種した

その他：MRワクチンと水痘ワクチンを接種予定の双子が診察室に入り、
MRワクチン が2名分用意されたトレーと
水痘ワクチン が2名分用意されたトレーがあったが、
MRワクチンを2本誤って接種した

5）**接種量**の間違い事例

＜間違い例＞

① **日本脳炎１期**　『３歳未満に~~0.5mL~~接種』　⇒ 正しくは 0.25mL

※標準的接種年齢とされる 3歳以降は0.5mL

② **インフルエンザ**　『３歳未満に~~0.5mL~~接種』　⇒ 正しくは 0.25mL

③ **B型肝炎**　『10歳未満に~~0.5mL~~接種』　⇒ 正しくは 0.25mL

④ **DT２期**　『~~0.5mL~~接種』　⇒ 正しくは 0.1mL

※ DT2期相当年齢でDTの代わりに
DPT（3種混合）ワクチンを接種する場合は**0.5mL**

⑤ **新型コロナワクチン**

- 製剤別の接種量の違いに由来する間違い
- 接種対象年齢別

（適応拡大による同一ワクチンの 年齢群別に異なる用量接種）

6）**対象者の誤認**の間違い事例

① **兄弟・姉妹の受診**

② 呼び入れ時の間違い

③ その他

①の例：姉妹で予防接種を受けに来たが、
姉に接種予定のワクチンを妹に接種した
さらに妹に接種したワクチンは定期接種の**対象年齢外**であった

②の例：Aさんの名前をよび、入室を促したところBさんが入室、
Bさんと気づかないまま接種してしまった

③の例：12歳以上対象の新型コロナワクチン集団接種会場において、
11歳の児に対し年齢が満たないことに気づかず接種した

8)　**不適切な保管をされていたワクチン**の間違い事例

① **保管冷蔵庫の温度が上昇していた**

② **インフルエンザワクチン1mLバイアル**の半量0.5 mLを使用後、
残りの半量を24時間以内に使用すべきところ、**9日後に使用**した

その他　**接種対象年齢が適切でなかった**間違い事例

① **MR**ワクチン　⇒ **年中組の5歳児**への接種（就学前1年間に至っていない）

② **B型肝炎**　⇒ 1歳以上で接種（定期接種は生後1歳に至るまでの間）

③ 新型コロナ　⇒ ワクチン製剤ごとに対象年齢が異なる

④ その他

10）**血液感染を起こしうるもの**の間違い事例

① 看護師の指に刺さった針で児に接種した

② 接種者の指に接触した管針で接種．接触部分から出血あり．
抗体検査・血液検査ともに実施．3か月後に2回目の血液検査予定．

③ 他者に接種済みの管針で別の児に接種した

リキャップや、感染性廃棄物Boxではなくトレイ等の容器に戻すことは、
血液感染を起こしうる事例の大きな要因

⇒必ず接種者の手の届くところに感染性廃棄物Boxを設置してリキャップせずに廃棄できる環境を準備することが重要

その他の間違い事例

・BCGワクチンの接種において、**管針円柱部**でワクチン液を塗布したため、擦過傷を生じた。

【BCGワクチン液の塗布】

滴下されたワクチンを**管針のツバの側面**で上腕の　縦方向に沿って幅約1.5cm、長さ約３cm程度の範囲に塗りひろげる　（以下の図ともに添付文書より抜粋）

図-①



図-②

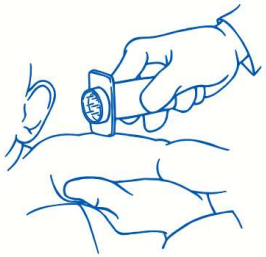


図-⑥

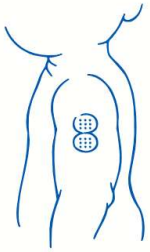
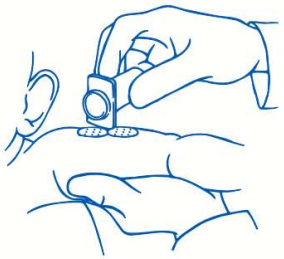


図-⑦



・ヒブワクチンの**溶解液のみ**接種した。

・保護者が**対象者と間違えて、兄弟を連れてきた**。

・家族でインフルエンザの予防接種を受けに来た。人数分のワクチンをトレーに準備した。使用済みの接種器具を同じトレーに置いていたが、ある一人に**接種した際に中身が空であることに気が付いた**

１．予防接種間違いの状況

２．予防接種間違い防止のための工夫

間違いの起こりやすいポイントの確認

７つの『**Right**』

Public Health Agency of Canada;
Immunization Competencies for Health Professionals

Right drug	1．ワクチンの種類・準備・保管
Right client	2．被接種者
Right dose	3．接種量・接種回数
Right time	4．接種年齢・接種間隔・時期
Right route	5．接種方法・手技
Right reason	6．目的
Right documentation	7．記録

予防接種の一連の流れ

確認事項を明確に！ 間違いの要因を排除する！



受付

予約

受付

予診

診察

薬剤準備

接種

接種後
（記録・体調確認）

薬品管理











被接種者
・保護者



看護師



医師

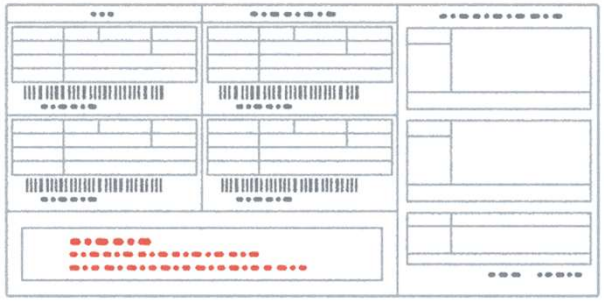
確認に用いるべきツール



予防接種記録

母子健康手帳　あるいは　**予防接種手帳**
（予防接種済証）

母子健康手帳 “なし” の接種は
予防接種間違いのリスク



接種券

風疹第5期定期接種



予診票



電子カルテ

予防接種済証・母子健康手帳に関する記載

― 定期接種実施要領より抜粋 ―

１０　予診並びに予防接種不適当者及び予防接種要注意者

（３）乳幼児・小児に対して定期接種を行う場合は、保護者に対し、接種前に**母子健康手帳の提示を求める**こと。

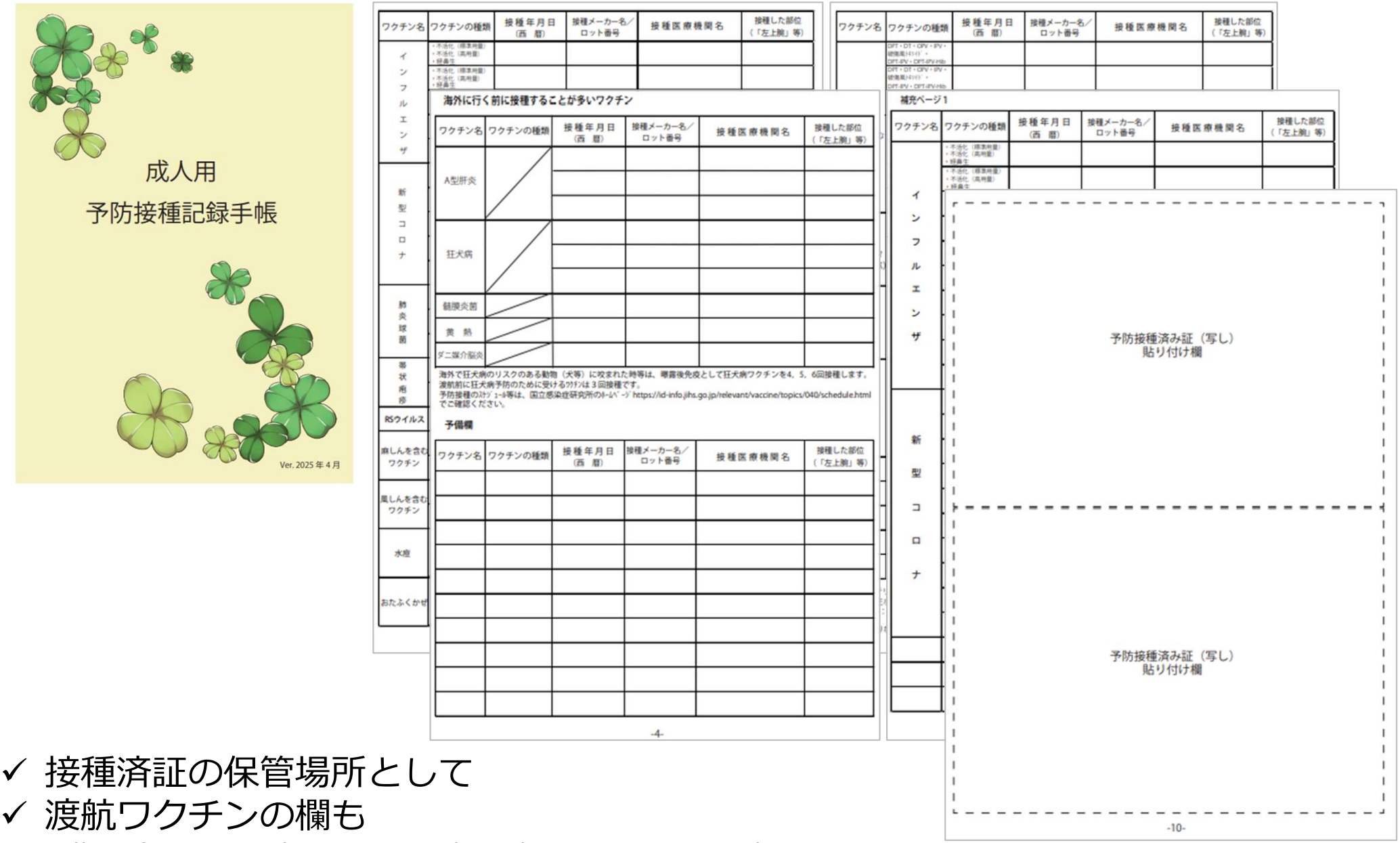
１６　予防接種に関する記録及び**予防接種済証**の交付

（１）予防接種を行った際は、施行規則に定める様式による**予防接種済証**を交付すること。

（２）予防接種を行った際、乳幼児・小児については、（１）に代えて、**母子健康手帳に予防接種の種類、接種年月日その他の証明すべき事項を記載する**こと。

（３）平成 24 年に改正された母子健康手帳では、乳幼児のみならず、学童、中学校、高等学校相当の年齢の者に接種する予防接種についても記載欄が設けられていることから、母子健康手帳に予防接種及びワクチンの種類、接種年月日その他の証明すべき事項を記載することにより、（１）に代えることができること。

成人の方々もぜひ予防接種手帳を



✓ 接種済証の保管場所として
✓ 渡航ワクチンの欄も

https://id-info.jihs.go.jp/immunization/tools/adult-vaccine-note/index.html

1. Right **drug**
2. Right **client**
3. Right **dose**
4. Right **time**
5. Right **route**
6. Right **reason**
7. Right **documentation**

予約時に





受付

1．ワクチンの種類

2．被接種者

－名前・**年齢**

3．接種回数

－**接種済みワクチン**

4．接種年齢・**接種間隔**

－同じ種類のワクチンの前回接種時期
直近の接種ワクチンの 種類・時期

7． 記録



被接種者・保護者



看護師



医師

定期予防接種対象者_対象年齢の考え方

年齢は出生の日から起算され、期間はその末日の終了をもって満了するため、翌年の誕生日の前日（24時）に 1 歳年をとると考える

		例 ＜令和2年 4 月 1 日生まれの場合＞
『●歳に達した時』	●歳の誕生日の前日	1歳に達したとき ＝令和3年3月31日（24 時）
『●歳に至るまで』 同義：『達するまで』 『至った日まで』	誕生日の前日（24 時）まで	1歳に至るまで ＝令和3年3月31日（24 時）まで
『●歳以上』	●歳の誕生日の前日から	1歳以上 ＝令和3年3月31日から＊
『●歳未満』	●歳の誕生日の前日まで	1歳未満 ＝令和3年 3 月 31 日まで＊＊
『生後1月に至るまで』	単位が月の場合、 暦に合わせて翌月の同日の前日まで＊＊＊	生後1月に至るまで ＝令和2年4月30日
『出生●週●日後から』 同義：『生後●週に至った日の翌日から』	生まれた日の翌日を出生0週1日後と考える 『●週●日後』の日を含む	出生1週後から ＝令和2年4月8日から
『出生●週●日後まで』 同義：『生後●週に至る日の翌日まで』	生まれた日の翌日を出生0週1日後と考える 『●週●日後』の日を含む	出生1週6日後まで ＝令和2年4月14日まで

＊厳密には 3月31日であっても 0 時から 24 時に至るまでは、1 歳に達していないが、日中でも接種を受けられるように配慮したもの
＊＊一方で、厳密に前日（24 時）に 1 歳年をとると考えて、3 月 31 日 24 時に至るまでは接種可能としたもの
＊＊＊翌月に同日となる日が存在しない場合は、翌月の最後の日に1月経過したと考える（例：令和4年1月31日生まれの場合、同年2月29日）

定期の予防接種における対象者の解釈について（事務連絡）令和2年2月4日を参照　抜粋改変https://www.mhlw.go.jp/content/000620100.pdf

接種間隔の考え方

接種日を0日として考える

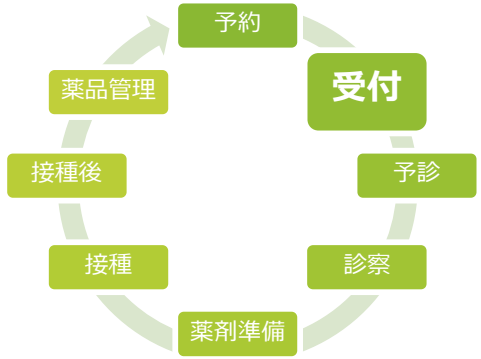
		例 ＜令和4年 4 月 1 日接種の場合＞
『●日の間隔をおいて』	中●日をあける＊ （接種日の**●日後の翌日**に接種）	20日の間隔をおいて ＝令和4年4月22日（接種日翌日から数えて20+1日目）
『●日以上の間隔をおいて』	中●日以上をあける＊ （接種日の**●日後の翌日**から接種可能）	27日以上の間隔をおいて ＝令和4年4月29日（接種日翌日から数えて27+1日目）以降
『●月の間隔をおいて』	単位が月の場合、 暦に合わせて●月後の同日＊＊	1月の間隔をあけて ＝令和4年5月1日
『〇月から●月半の間隔をおいて』	●月半の場合、当該付きが何日で 終わるかによって以下の通り 28日で終わる月：14日 29日で終わる月：15日 30日で終わる月：15日 31日で終わる月：16日	2か月半の間隔をあけて ＝令和4年6月16日 （2月の間隔をおいた6月1日に15日を足す）

＊●＋1　が7のn倍にあたる場合は、“n週間後の同じ曜日”　（例：27日以上の間隔をおいて　の場合、4週間後の同じ曜日）

＊＊翌月に同日となる日が存在しない場合は、翌月の最後の日に1月経過したと考える（例：令和4年1月31日接種の場合、同年2月29日）

1. Right **drug**
2. Right **client**
3. Right **dose**
4. Right **time**
5. Right **route**
6. Right **reason**
7. Right **documentation**

受付で



1．ワクチンの種類

2．被接種者

– 名前・年齢・生年月日

3．接種**回数**

– 接種済みワクチン

4．接種**年齢**・接種**間隔**

– 同じ種類のワクチンの前回接種時期
直近の接種ワクチンの 種類・時期

7．記録



受付



被接種者・保護者



看護師

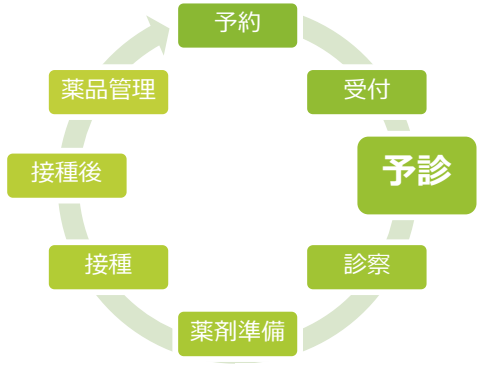


医師

当初の予定から**予定変更**があった場合なども**要注意**

1. Right **drug**
2. Right **client**
3. Right **dose**
4. Right **time**
5. Right **route**
6. Right **reason**
7. Right **documentation**

問診時に



1．ワクチンの種類

2．被接種者

★ －名前・年齢・生年月日
接種は可能か
健康状態：体温・予診票項目
（既往、アレルギーなど）

3．接種量・**接種回数**

★ －接種済みワクチン

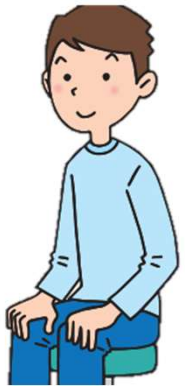
4．接種**年齢**・接種**間隔**

★ －同じ種類のワクチンの前回接種時期
直近の接種ワクチンの 種類・時期

6．目的



受付



被接種者・保護者



看護師



医師

※第32回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（2019年8月7日開催）資料の事例より

＜接種間隔・回数に関する間違い実例＞

・**Hib追加接種は3回目から「7か月以上」**の間隔をあけるところ、約5か月で接種した

類似：DPT-IPV-Hib追加は3回目から6か月以上間隔をあける

・インフルエンザワクチン接種後2～4週間の間隔で2回目を受けるところ **2日の間隔で接種**した

・B型肝炎ワクチンの**4回目**を接種した

接種記録を確認しないと気づくことができない間違い

キーワードは・・・

『見える化』

と

『ルール化』

被接種者　接種年齢　ワクチンの種類　接種回数　の『見える化』

“一目で”







接種内容一覧メモ　に情報を集約

名前　○○　○○○様　年齢　1 歳 0か月

予防接種日　［ 1 / 24 ］

接種ワクチン　(MR①　みずぼうそう①)

『見える化』＋『ルール化』の効果
記載するためには、**必然的に**接種記録を確認

接種間隔_前回接種から必要日数あいているか

を見える化する工夫

予防接種の記録（1）

ワクチンの種類		接種年月日	メーカー／ロット	接種者署名	備考
小児肺炎球菌	1回	2025/5/12		○○小児科	左上腕0.5mL
	2回	2025/6/9		○○小児科	右上腕0.5mL
	3回				
	追加				

ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・インフルエンザ菌b型

時期		ワクチンの種類	接種年月日	メーカー／ロット	接種者署名	備考
第1期初回	1回	□□	2025/5/12		○○小児科	右大腿0.5mL
	2回	□□	2025/6/9		○○小児科	左大腿0.5mL
	3回					
第1期追加						

ワクチンの種類	接種年月日	メーカー／ロット	接種者署名	備考
B型肝炎	2025/5/12		○○小児科	右上腕0.5mL
	2025/6/9		○○小児科	左上腕0.5mL
ロタウイルス	2025/5/12		○○小児科	1.5mL
	2025/6/9		○○小児科	1.5mL

<母子健康手帳イメージ>

7月 July

7

（月曜日）

前回接種から
何日あいている？

2つの日付の前後
は分かりやすい！



『日付と日付の間の日数（**間隔**）』を知るのは一目では難しい
：その都度の計算には、間違いのリスクが存在

『計算した日数/間隔 を 規定の日数 と比較する』のではなく、
『今日から既定の日数遡った**日付**と**前回接種日付**を比較する』

接種間隔の種類と該当ワクチン

接種間隔	該当ワクチン
1週間（６日）以上	日本脳炎1期初回免疫
~~２週間（13日）以上~~	~~A型肝炎~~
３週間（20日）以上	四種混合１期初回免疫、DPT1期初回免疫、IPV初回免疫、 Hib初回免疫など
４週間（27日）以上	肺炎球菌13価初回免疫、ロタウイルスワクチン、 B型肝炎2回目、注射生ワクチン相互の間隔など
１か月以上	HPV2価2回目、HPV4/9価2回目（変則；1回目から）など
60日以上	肺炎球菌13価追加（初回免疫終了後、ただし1歳以降）
2か月以上	HPV4価2回目、HPV9価2回目（3回接種の場合）
3か月以上	水痘2回目、HPVワクチン4/9価3回目（変則；2回目から）など
20週間（139日）以上	B型肝炎（定期接種）3回目（1回目接種後）
~~24週間以上~~	~~A型肝炎追加（初回１回目接種後）~~
６か月以上	四種混合追加免疫（初回免疫終了後）、 IPV追加（初回免疫終了後）、HPV9価2回目（2回接種）など
７か月以上	Hib追加免疫（初回免疫終了後）

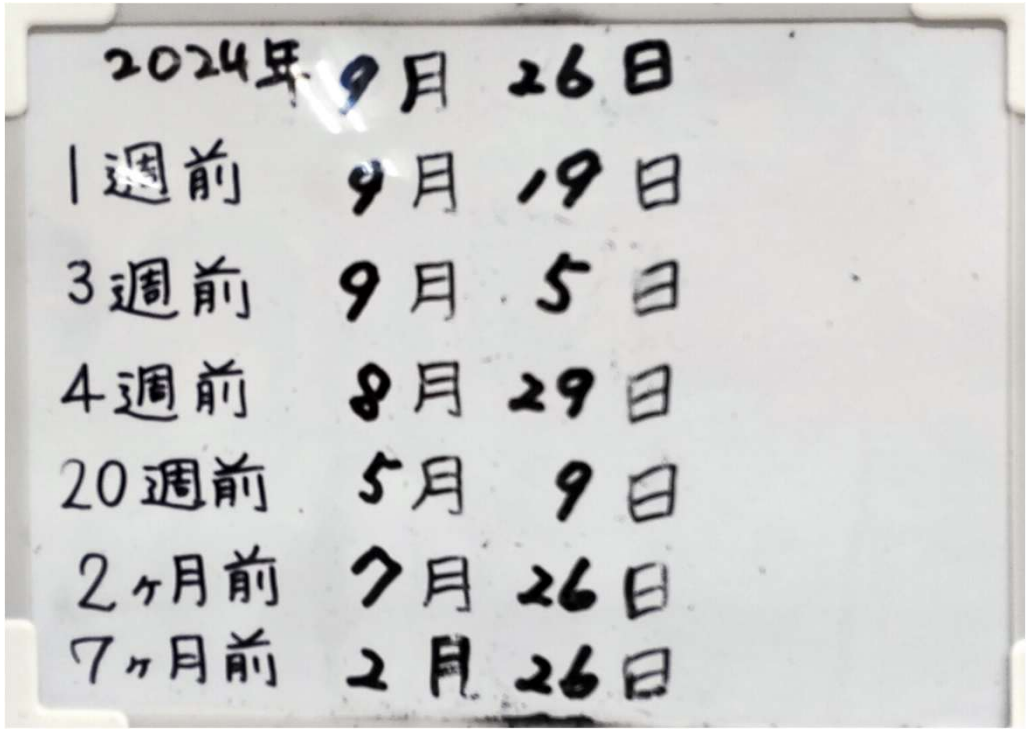
崎山小児科　崎山先生ご提供資料

予防接種スケジュール確認表（Excel）

必要な間隔						今日の日付 2024年9月26日		（木曜日）
1週間(6日以上)	9月19日	木	を含めて	9月19日	までに接種済	1週間後	10月3日	から接種可能
2週間	9月12日	木	を含めて	9月12日	までに接種済	2週間後	10月10日	から接種可能
3週間(20日以上)	9月5日	木	を含めて	9月5日	までに接種済	3週間後	10月17日	から接種可能
4週間(27日以上)	8月29日	木	を含めて	8月29日	までに接種済	4週間後	10月24日	から接種可能
1か月	8月26日	金	を含めて	8月26日	までに接種済	1か月後	10月26日	から接種可能
60日以上	7月28日	日	を含めて	7月28日	までに接種済	60日後	11月25日	から接種可能
2か月	7月26日	金	を含めて	7月26日	までに接種済	2か月後	11月26日	から接種可能
3か月	6月26日	水	を含めて	6月26日	までに接種済	3か月後	12月26日	から接種可能
20週間(139日以上)	5月9日	木	を含めて	5月9日	までに接種済	20週間後	2月13日	から接種可能
24週間	4月11日	木	を含めて	4月11日	までに接種済	24週間後	3月13日	から接種可能
6か月	3月26日	火	を含めて	3月26日	までに接種済	6か月後	3月26日	から接種可能
7か月	2月26日	月	を含めて	2月26日	までに接種済	7か月後	4月26日	から接種可能

接種間隔の誤りを防ぐ予防接種実施手順

1、毎朝、下記の表を始業前に作成する。



規制標識の作成

接種を行うたびに
「今日の4週間前は？」
などと、頭の中で計算
することや、その時に
カレンダーを目視する
ことは、避ける。

2、接種間隔の確認は母子手帳の前回接種日と
　表に記載された日付を比較する。

3，不適切であれば接種を中止して再予約。

被接種者

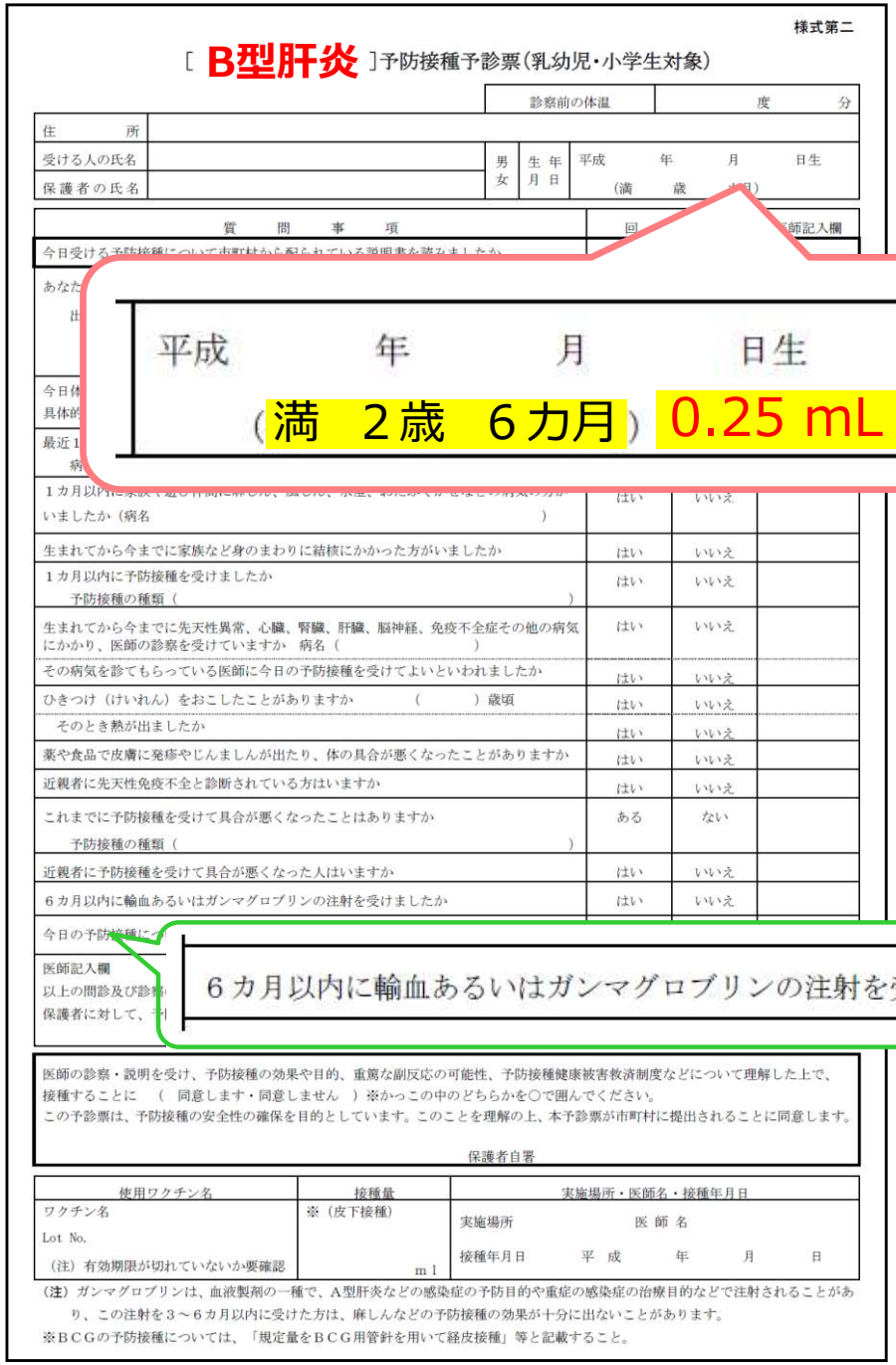


今日の接種は可能？

『安全に接種ができるか』

予防接種不適当者、予防接種要注意者を把握する

- ✓ 発熱、重篤な急性疾患がないか
- ✓ 妊娠、免疫不全など生ワクチンを接種してはいけない状態ではないか
- ✓ アレルギー症状
- ✓ 基礎疾患、その他



様式第二

［ B型肝炎 ］予防接種予診票（乳幼児・小学生対象）

		診察前の体温		度　分
住　所				
受ける人の氏名		男女	生年月日	平成　年　月　日生（満　歳　か月）
保護者の氏名				

質問事項	回	医師記入欄
今日受ける予防接種について市町村から配られている説明書を読みましたか		
あなた		
出		
今日体		
具体的		
最近1		
病		
1カ月以内に家族で通う伴園に新しく、風しん、水痘、おたふくかぜなどの病気の分か		
いましたか（病名　）	はい　いいえ	
生まれてから今までに家族など身のまわりに結核にかかった方がいましたか	はい　いいえ	
1カ月以内に予防接種を受けましたか 予防接種の種類（　）	はい　いいえ	
生まれてから今までに先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、脳神経、免疫不全症その他の病気にかかり、医師の診察を受けていますか　病名（　）	はい　いいえ	
その病気を診てもらっている医師に今日の予防接種を受けてよいといわれましたか	はい　いいえ	
ひきつけ（けいれん）をおこしたことがありますか　（　）歳頃	はい　いいえ	
そのとき熱が出ましたか	はい　いいえ	
薬や食品で皮膚に発疹やじんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか	はい　いいえ	
近親者に先天性免疫不全と診断されている方はいますか	はい　いいえ	
これまでに予防接種を受けて具合が悪くなったことはありますか 予防接種の種類（　）	ある　ない	
近親者に予防接種を受けて具合が悪くなった人はいますか	はい　いいえ	
6カ月以内に輸血あるいはガンマグロブリンの注射を受けましたか	はい　いいえ	
今日の予防接種に		
医師記入欄 以上の問診及び診察 保護者に対して、予		

医師の診察・説明を受け、予防接種の効果や目的、重篤な副反応の可能性、予防接種健康被害救済制度などについて理解した上で、接種することに　（　同意します・同意しません　）※かっこの中のどちらかを○で囲んでください。
この予診票は、予防接種の安全性の確保を目的としています。このことを理解の上、本予診票が市町村に提出されることに同意します。

保護者自署

使用ワクチン名	接種量	実施場所・医師名・接種年月日
ワクチン名 Lot No. （注）有効期限が切れていないか要確認	※（皮下接種） ml	実施場所　医師名 接種年月日　平成　年　月　日

（注）ガンマグロブリンは、血液製剤の一種で、A型肝炎などの感染症の予防目的や重症の感染症の治療目的などで注射されることがあり、この注射を3～6カ月以内に受けた方は、麻しんなどの予防接種の効果が十分に出ないことがあります。
※BCGの予防接種については、「規定量をBCG用管針を用いて経皮接種」等と記載すること。

平成　年　月　日生
（満　2歳　6カ月）　0.25 mL

6カ月以内に輸血あるいはガンマグロブリンの注射を受けましたか　はい　いいえ

予診票　を

「さらに見える化」

に活用

接種する年齢に応じて
接種量が異なるワクチンは
年齢と接種量をハイライト

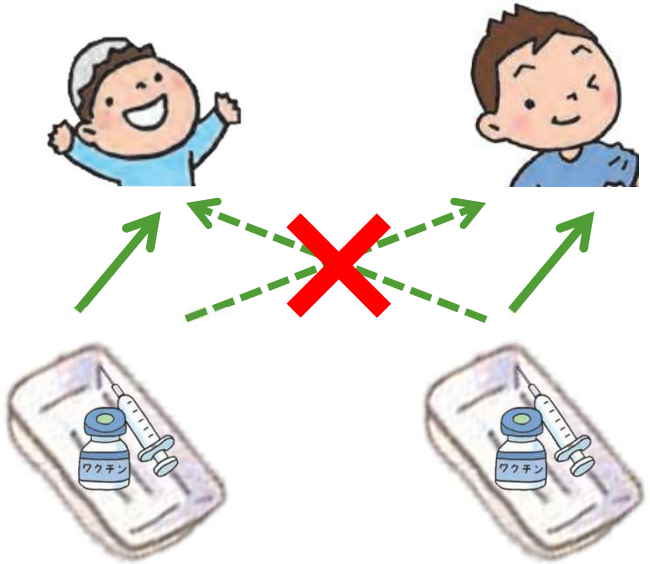
問診項目で**確認すべき**
箇所にハイライト

被接種者 にかかわる「ヒヤッと」

- ✓ **呼び込み時**の入れ替わり
- ✓ **接種ワクチン**の入れ替わり
- ✓ **予診票**の入れ替わり
  - – 接種の可否にも関与
  - – 兄弟姉妹間での記入間違い



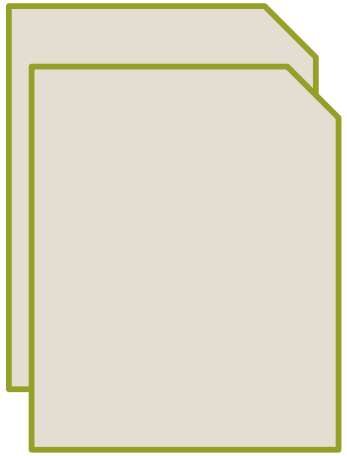
兄弟姉妹受診は
「被接種者」に関わる間違いのリスクのひとつ



兄弟姉妹受診　を「見える化」

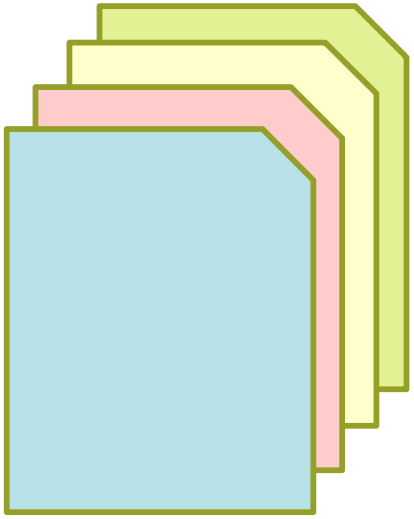
予診票ファイル

- 各人の予診票が混ざらないよう、
  識別しやすい個別ファイルに分けて入れて移動
- 兄弟姉妹の同時受診であることの意識づけ



単独受診時
透明ファイル

兄弟受診時
色つきファイル



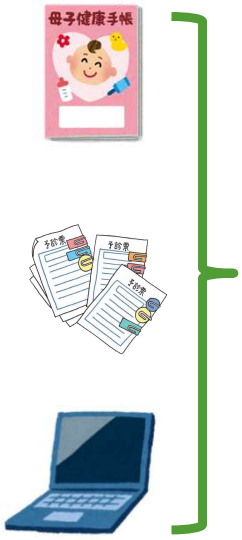
※ 定期の予防接種に関する間違いについて（令和元～３年度分）資料より

＜被接種者に関する間違い実例＞

・保護者が誤って**妹の母子手帳**を持参したため不必要な接種を行った

こうしたことが「起こりうる」と知って母子手帳の名前確認もルールに

例）「母子手帳の名前を転記して接種内容一覧メモを書く」をルールに
→ 予診票、カルテの内容との一致確認項目に「名前」も含める



接種内容一覧メモ

名前　〇〇　〇〇〇様　年齢　1 歳 0か月

予防接種日　［ 1 / 24 ］

接種ワクチン　(MR 1　みずぼうそう 1

※第32回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（2019年8月7日開催）資料の事例より

＜被接種者に関する間違い実例＞

・5歳児（幼稚園の**年中組**）に第2期のMRワクチンを接種した　【MR第2期：就学前の1年間】

✓ 接種対象者が**「年度」で規定**されている定期接種ワクチン

– **MRワクチン**　第2期　『5歳以上7歳未満で**小学校入学前の1年間**』

– **HPVワクチン**　『12歳になる年度初日から16歳になる年度末日まで』

（**小学6年～高校1年相当**）

– **帯状疱疹**（2025～2029年度経過措置）

『65，70，75，80，85，90，95，100歳になる年度（2025年度は100歳以上）』

※第32回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（2019年8月7日開催）資料の事例より

＜被接種者に関連した留意点＞　制度の変更（経過措置の終了）

高齢者肺炎球菌ワクチン

✓ 接種対象者が**「年度」で規定**されて**いた**　**；令和6年3月31日まで**

『65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳又は100歳となる日の属する年度
の初日から当該年度の末日までの間にある者とすること。』

令和6年4月1日から

✓ 定期接種対象者が本来の下記対象者のみへ

『65歳の方』

そのほか、下記対象者は引き続き

『60～64歳で心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり身の周りの生活を極度に制限される方』

『60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり日常生活がほとんど不可能な方』

※第32回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（2019年8月7日開催）資料の事例より

＜被接種者に関連した留意点＞　制度の変更（時限措置対応）

✓ 一定期間の時限措置

– **MRワクチン**の2024年度における供給不足による対応

第1期　2024年度内に**2歳に達した**対象者

（＝2022年4月2日～2023年4月1日生まれ）

第2期　2024年度対象者

（＝2018年4月2日～2019年4月1日生まれ）

風疹第5期接種　1962年度～1978年度生まれの男性で

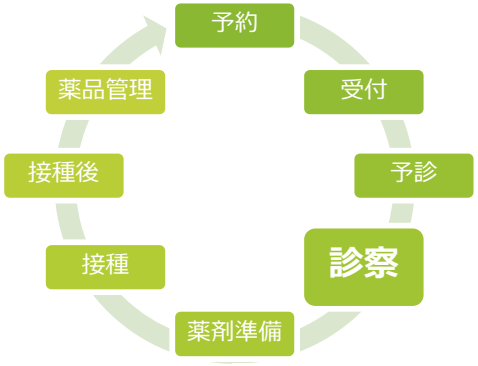
2024年度までに実施した風疹抗体検査で低抗体価であることが判明している場合

（2年間：令和9年3月31日までの時限措置）

麻しん及び風しんの定期の予防接種に係る対応について
（事務連絡 令和７年３月11 日）

1. Right **drug**
2. Right **client**
3. Right **dose**
4. Right **time**
5. Right **route**
6. Right **reason**
7. Right **documentation**

診察時に



1．ワクチンの種類

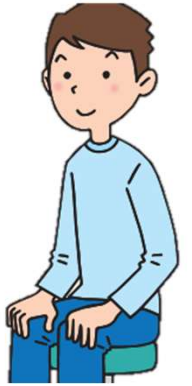
2．被接種者
- 名前・年齢・接種は可能か
  健康状態：体温・予診票項目
  （既往、アレルギーなど）

3．接種量・**接種回数**
- 接種済みワクチン

4．接種**年齢**・接種**間隔**
- 同じ種類のワクチンの前回接種時期
  直近の接種ワクチンの 種類・時期

6．目的


受付


被接種者・保護者


看護師


医師

予診者と診察者が異なるときは

予診時の内容を確認

⇒　**ダブルチェック**のチャンス

年齢、ワクチン種類、接種量、接種不適当者の確認はとくに注意

確認の相互促進・コミュニケーション

ルール作り（ルール化）と物品のひと工夫（見える化）

例）名前と年齢は必ず声に出して確認

⇒　連携・確認に　母子健康手帳
接種内容一覧メモ
予診票　が役立つ

ワクチンの種類

被接種者　　の見える化で度々確認

声にも出して

接種内容一覧メモ

名前　〇〇　〇〇〇様　年齢　1 歳 0か月

予防接種日　［ 1 / 24 ］

接種ワクチン　(MR①　みずぼうそう①)





〇〇 〇〇〇さん、何歳さん、
今日は〇〇のワクチン接種ですね

〇〇 〇〇〇、何歳です
〇〇のワクチンを受けに来ました

様式第二

［ **B型肝炎** ］予防接種予診票（乳幼児・小学生対象）

			診察前の体温	度　分
住　所				
受ける人の氏名		男女	生年月日	平成　年　月　日生 （満　歳　カ月）
保護者の氏名				

質問事項	回答欄		医師記入欄
今日受ける予防接種について市町村から配られている説明書を読みましたか	はい	いいえ	
あなたのお子さんの発育歴についておたずねします 出生体重（　）g　分娩時に異常がありましたか	あった	なかった	
出生後に異常がありましたか	あった	なかった	
乳児健診で異常があるといわれたことがありますか	ある	ない	
今日体に具合の悪いところがありますか 具体的な症状を書いてください（　）	はい	いいえ	
最近１カ月以内に病気にかかりましたか 病名（　）	はい	いいえ	
１カ月以内に家族や遊び仲間に麻しん、風しん、水痘、おたふくかぜなどの病気の方がいましたか（病名　）	はい	いいえ	
生まれてから今までに家族など身のまわりに結核にかかった方がいましたか	はい	いいえ	
１カ月以内に予防接種を受けましたか 予防接種の種類（　）	はい	いいえ	
生まれてから今までに先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、脳神経、免疫不全症その他の病気にかかり、医師の診察を受けていますか　病名（　）	はい	いいえ	
その病気を診てもらっている医師に今日の予防接種を受けてよいといわれましたか	はい	いいえ	
ひきつけ（けいれん）をおこしたことがありますか　（　）歳頃	はい	いいえ	
そのとき熱が出ましたか	はい	いいえ	
薬や食品で皮膚に発疹やじんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか	はい	いいえ	
近親者に先天性免疫不全と診断されている方はいますか	はい	いいえ	
これまでに予防接種を受けて具合が悪くなったことはありますか 予防接種の種類（	ある	ない	
近親者に予防接種を受け			
６カ月以内に輸血あるいはガンマグロブリンの注射を受けましたか	はい	いいえ	
今日の予防接種につい			

医師記入欄
以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は（　実施できる・見合わせた方がよい　）と判断します。
保護者に対して、予防接種の効果、副反応及び予防接種健康被害救済制度について、説明をしました。
医師署名又は記名押印

医師の診察・説明を受け、予防接種の効果や目的、重篤な副反応の可能性、予防接種健康被害救済制度などについて理解した上で、接種することに　（　同意します・同意しません　）※かっこの中のどちらかを○で囲んでください。
この予診票は、予防接種の安全性の確保を目的としています。このことを理解の上、本予診票が市町村に提出されることに同意します。

保護者自署

使用ワクチン名	接種量	実施場所・医師名・接種年月日
ワクチン名 Lot No. （注）有効期限が切れていないか要確認	※（皮下接種） ｍｌ	実施場所　医師名 接種年月日　平成　年　月　日

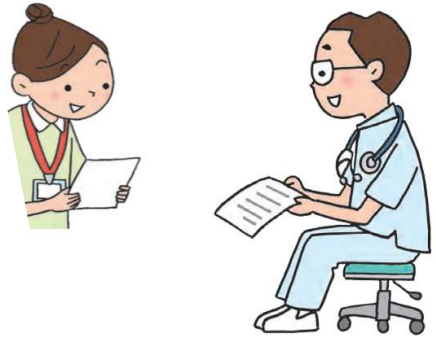
（注）ガンマグロブリンは、血液製剤の一種で、A型肝炎などの感染症の予防目的や重症の感染症の治療目的などで注射されることがあり、この注射を３～６カ月以内に受けた方は、麻しんなどの予防接種の効果が十分に出ないことがあります。
※ＢＣＧの予防接種については、「規定量をＢＣＧ用管針を用いて経皮接種」等と記載すること。

予診票

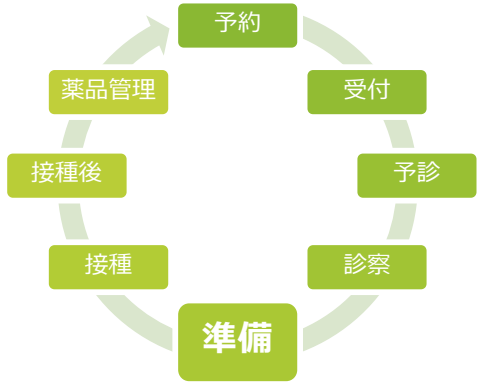
平成　年　月　日生
（満　２歳　６カ月）　0.25 mL

予診時のハイライト箇所や
記載項目の再確認

６カ月以内に輸血あるいはガンマグロブリンの注射を受けましたか　はい　いいえ



準備時に



製剤について

ワクチン名
接種量
ワクチン有効期限
ロット番号
希釈方法
外観

器具について

器具が未使用であること
針の種類・長さ・接続

手技について

エア抜き

※第32回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（2019年8月7日開催）資料より　抜粋

＜準備時に関する間違い実例＞

・DT 0.1 mLが入ったシリンジに
日本脳炎ワクチン0.7 mLを吸わせて調製溶解し、
0.5 mLを接種した

・B型肝炎ワクチン0.25 mLを準備したシリンジを
空であると勘違いし、
日本脳炎ワクチンの溶解液を0.7 mLまで吸い足し、
0.5 mLを接種した

・ヒブワクチンを接種するところ、**溶解液のみ**を接種した

・有効期限が過ぎた○○ワクチンを接種した

※第32回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（2019年8月7日開催）資料より　抜粋

＜準備時に関する間違い実例＞

・DT 0.1 mLが入ったシリンジに
日本脳炎ワクチン0.7 mLを吸わせて調製溶解し、
0.5 mLを接種した

・B型肝炎ワクチン0.25 mLを準備したシリンジを
空であると勘違いし、
日本脳炎ワクチンの溶解液を0.7 mLまで吸い足し、
0.5 mLを接種した



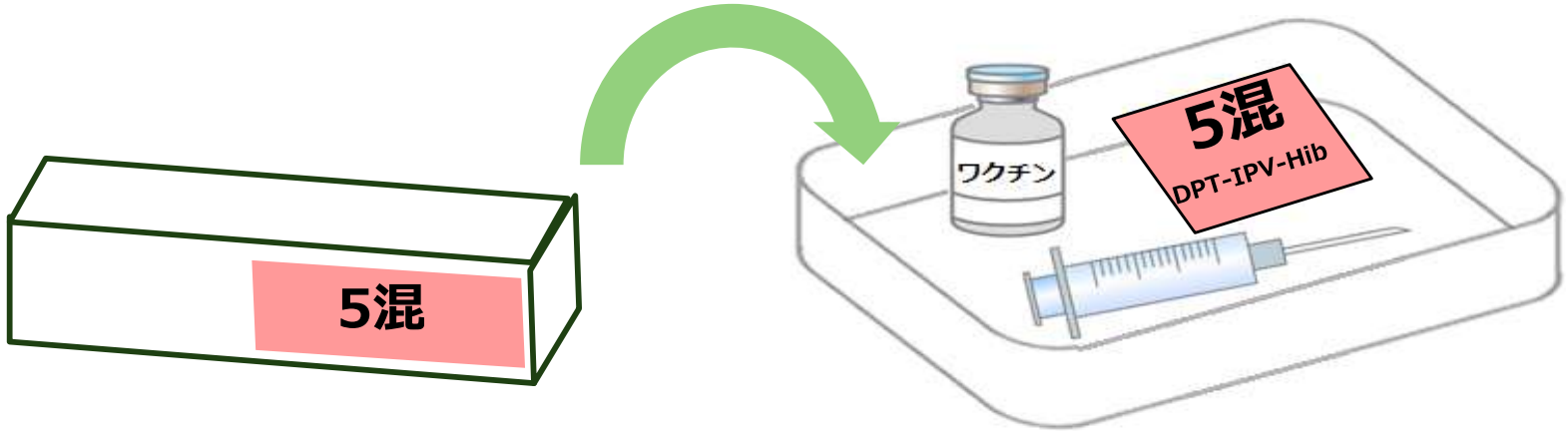
✓ **原則『１つのトレーには１セットのワクチン・接種器具』とすることで防ぐことができる可能性**

※第32回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（2019年8月7日開催）資料より　抜粋

＜準備時に関する間違い実例＞

・ヒブワクチンを接種するところ、**溶解液のみ**を接種した

✓ **作業は中断しない・その場を離れない・話しかけない**



箱から1つのトレーに出したら**一連の流れで溶解、充填まで完了を**

特に溶解液がシリンジに充填されておりバイアル内成分を用時調製する

ワクチンは調製・溶解もれに注意

準備時のリスク に対する「ルール化」

- ✓ **原則、１つのトレーには１セットのワクチン・接種器具**

- ✓ **作業は中断しない・その場を離れない・話しかけない**
  - 溶解忘れ・空シリンジ接種の防止
  - ワクチンの入れ代わり防止

- ✓ **溶解作業は直前に**
  - ワクチンの安定性保持にも関わる
    特に生ワクチンは紫外線・温度に弱い！

> 生ワクチンの添付文書には【取扱い上の注意】として
> 本剤のウイルスは日光に弱く、**速やかに不活化される**ので、
> 溶解の前後にかかわらず光が当たらないよう注意する こと。

- ✓ 接種量が特異なワクチンは互いに声かけ

接種量等が異なるワクチン の「見える化」

例えばこんなメモを見える場所に

【DT2 期】　1 回に**0.1mL** を皮下接種

【B 型肝炎】10 歳未満は1 回に**0.25mL** を皮下接種（10 歳以上は1 回に0.5mL を皮下または筋肉内接種）

【日本脳炎1 期】　3 歳未満は1 回に**0.25mL**（3 歳以上は1 回に0.5mL）を皮下接種

【インフルエンザ】　3 歳未満は1 回に**0.25mL**（3 歳以上は1 回に0.5mL）を皮下接種

【BCG】　管針を用いて**2 か所**に圧刺（経皮接種）

【HPV】　1 回に0.5mL を**筋肉内接種**

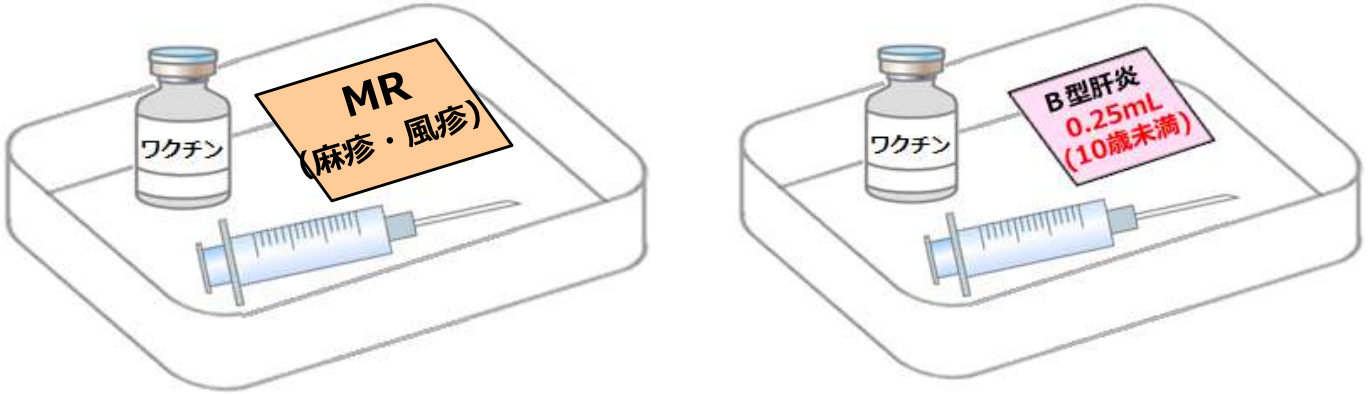
【ロタウイルス】[1 価]　1 回に**1.5mL** を経口接種 ／ **[5 価]** 1 回に**2.0mL** を経口接種

参考：予防接種における間違いを防ぐために

ワクチンの種類を「見える化」

DPT-IPV (4混)	DPT (3混)	不活化ポリオ	DT２期 0.1mL	Hib	小児用肺炎球菌 (20価)	成人用肺炎球菌 (23価)
MR (麻疹･風疹)	BCG 経皮	水痘	HPV２ 筋注	HPV４ 筋注	日本脳炎 0.25mL (3歳未満)	日本脳炎 0.5mL (3歳以上)
ロタ１ 1.5mL 経口	ロタ５ 2.0mL 経口	おたふく	B型肝炎 0.25mL (10歳未満)	B型肝炎 0.5mL (10歳以上)	インフル 0.25mL (3歳未満)	インフル 0.5mL (3歳以上)

１ ワクチンごとにトレーに入れて使用



接種量が異なるワクチン の「見える化」

日本脳炎
0.25mL
(3歳未満)

or

日本脳炎
0.5mL
(3歳以上)

インフル
0.25mL
(3歳未満)

or

インフル
0.5mL
(3歳以上)

B型肝炎
0.25mL
(10歳未満)

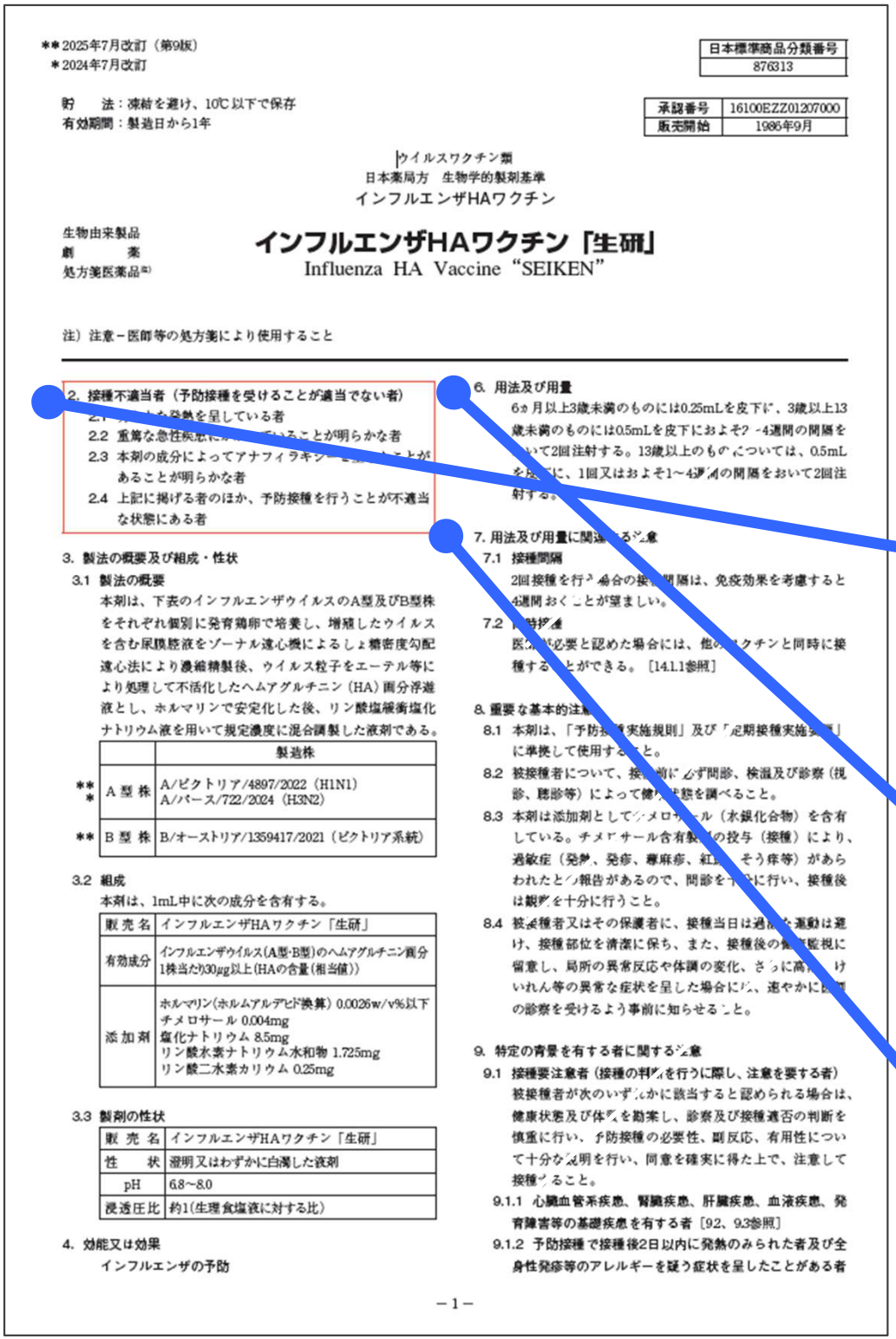
or

B型肝炎
0.5mL
(10歳以上)

DT２期
0.1mL

接種量を要注意のワクチン“のみ”、
ワクチンカードに**「量」**も書いておくと気づくチャンスに

添付文書の接種準備に関わるポイントをおさえた確認



**2025年7月改訂（第9版）
*2024年7月改訂

日本標準商品分類番号
876313

貯　法：凍結を避け、10℃以下で保存
有効期間：製造日から1年

承認番号	16100EZZ01207000
販売開始	1986年9月

ウイルスワクチン類
日本薬局方　生物学的製剤基準
インフルエンザHAワクチン

生物由来製品
劇　　薬
処方箋医薬品注）

インフルエンザHAワクチン「生研」
Influenza HA Vaccine "SEIKEN"

注）注意－医師等の処方箋により使用すること

2. 接種不適当者（予防接種を受けることが適当でない者）
2.1 [illegible]な発熱を呈している者
2.2 重篤な急性疾患に[illegible]ことが明らかな者
2.3 本剤の成分によってアナフィラキシー[illegible]ことがあることが明らかな者
2.4 上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

3. 製法の概要及び組成・性状
3.1 製法の概要
本剤は、下表のインフルエンザウイルスのA型及びB型株をそれぞれ個別に発育鶏卵で培養し、増殖したウイルスを含む尿膜腔液をゾーナル遠心機によるしょ糖密度勾配遠心法により濃縮精製後、ウイルス粒子をエーテル等により処理して不活化したヘムアグルチニン（HA）画分浮遊液とし、ホルマリンで安定化した後、リン酸塩緩衝塩化ナトリウム液を用いて規定濃度に混合調製した液剤である。

	製造株
*** A型株	A/ビクトリア/4897/2022（H1N1） A/パース/722/2024（H3N2）
** B型株	B/オーストリア/1359417/2021（ビクトリア系統）

3.2 組成
本剤は、1mL中に次の成分を含有する。

販売名	インフルエンザHAワクチン「生研」
有効成分	インフルエンザウイルス(A型･B型)のヘムアグルチニン画分1株当たり30μg以上(HAの含量(相当値))
添加剤	ホルマリン(ホルムアルデヒド換算) 0.0026w/v%以下 チメロサール 0.004mg 塩化ナトリウム 8.5mg リン酸水素ナトリウム水和物 1.725mg リン酸二水素カリウム 0.25mg

3.3 製剤の性状

販売名	インフルエンザHAワクチン「生研」
性　状	澄明又はわずかに白濁した液剤
pH	6.8～8.0
浸透圧比	約1(生理食塩液に対する比)

4. 効能又は効果
インフルエンザの予防

6. 用法及び用量
6ヵ月以上3歳未満のものには0.25mLを皮下に、3歳以上13歳未満のものには0.5mLを皮下におよそ2～4週間の間隔をおいて2回注射する。13歳以上のものについては、0.5mLを皮下に、1回又はおよそ1～4週間の間隔をおいて2回注射する。

7. 用法及び用量に関連する注意
7.1 接種間隔
2回接種を行う場合の接種間隔は、免疫効果を考慮すると4週間おくことが望ましい。
7.2 [illegible]特例
医師が必要と認めた場合には、他のワクチンと同時に接種することができる。［14.1.1参照］

8. 重要な基本的注意
8.1 本剤は、「予防接種実施規則」及び「定期接種実施要領」に準拠して使用すること。
8.2 被接種者について、接種前に必ず問診、検温及び診察（視診、聴診等）によって健康状態を調べること。
8.3 本剤は添加剤としてチメロサール（水銀化合物）を含有している。チメロサール含有製剤の投与（接種）により、過敏症（発熱、発疹、蕁麻疹、紅斑、そう痒等）があらわれたとの報告があるので、問診を十分に行い、接種後は観察を十分に行うこと。
8.4 被接種者又はその保護者に、接種当日は過激な運動は避け、接種部位を清潔に保ち、また、接種後の健康監視に留意し、局所の異常反応や体調の変化、さらに高熱、けいれん等の異常な症状を呈した場合には、速やかに医師の診察を受けるよう事前に知らせること。

9. 特定の背景を有する者に関する注意
9.1 接種要注意者（接種の判断を行うに際し、注意を要する者）
被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質を勘案し、診察及び接種適否の判断を慎重に行い、予防接種の必要性、副反応、有用性について十分な説明を行い、同意を確実に得た上で、注意して接種すること。
9.1.1 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する者［9.2、9.3参照］
9.1.2 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある者

－1－

2. 接種不適当者（予防接種を受けることが適当でない者）

6. 用法及び用量
（接種対象者含む）

7. 用法及び用量に関連する注意
（接種間隔含む）

インフルエンザHAワクチン「生研」　添付文書
https://www.info.pmda.go.jp/go/pack/631340FA1055_5_08/?view=frame&style=XML&lang=ja

RSウイルスワクチン 製剤別 **接種対象者** の違い

アブリスボ®筋注用（ファイザー社）

［一般名］組換えRSウイルスワクチン
［販売開始］2024年5月
［接種対象者］
○60歳以上の者
○妊婦（妊娠24～36週）

［接種回数］1回

アレックスビー®筋注用（GSK社）

［一般名］組換えRSウイルスワクチン
［販売開始］2024年1月
［接種対象者］
○60歳以上の者
○18歳以上のRSウイルスによる感染症が重症化するリスクが高いと考えられる者
［接種回数］1回

＜添付文書より＞
5. 効能又は効果に関連する注意
本剤は母子免疫による新生児及び乳児におけるRSウイルス感染症の予防に対する適応はない

同一の感染症に対するワクチンであっても
対象者が異なる（＝接種不可な）ワクチンがあることに留意

新型コロナワクチン 製剤別 **希釈方法・接種量** の違い

<12歳以上用>

2026年8月現在情報（販売開始前製剤も含む）

	12 歳以上				
製造販売業者	ファイザー	モデルナ	第一三共	Meiji Seikaファルマ	武田薬品
販売名	コミナティ筋注シリンジ 12歳以上用 **プレフィルドシリンジ**	エムネクスパイク筋注シリンジ 12歳以上用 **プレフィルドシリンジ**	ダイチロナ筋注 **（イエローキャップ）**	コスタイベ筋注用（2人用） **（紫キャップ）**	ヌバキソビッド筋注 1mL **（ピンクキャップ）**
製剤写真（各社ホームページより）					
1回接種量	希釈なし 0.3 mL	希釈なし **0.2 mL**	希釈なし **0.6 mL**	**希釈後** 0.5 mL	希釈なし 0.5 mL
希釈に使用する生理食塩液量				1.5 mL	
1バイアルの含有量	1回分	1回分	1回分	2回分	2回分

<小児・乳幼児用>

	小児（5（6）～11歳）				乳幼児（6か月～4歳）	
製造販売業者	ファイザー	モデルナ	第一三共	武田薬品	ファイザー	モデルナ
販売名	コミナティRTU筋注5～11歳用 1人用 **（ライトブルーキャップ）**	スパイクバックス筋注シリンジ 6ヵ月～11歳用 **プレフィルドシリンジ**	ダイチロナ筋注 **（イエローキャップ）**	ヌバキソビッド筋注 1mL **（ピンクキャップ）**	コミナティ筋注 6ヵ月～4歳用3人用 **（イエローキャップ）**	スパイクバックス筋注シリンジ 6ヵ月～11歳用 **プレフィルドシリンジ**
製剤写真（各社ホームページより）						
任意接種対象年齢	**5～11 歳**	**5～11 歳**	**5～11 歳**	**6～11 歳**	**6か月～4歳**	**6か月～4歳**
1回接種量	**希釈なし 0.3 mL**	**希釈なし 0.25 mL**	**希釈なし 0.2 mL**	**希釈なし 0.5 mL**	**希釈後 0.3 mL**	**希釈なし 0.25 mL**
希釈に使用する生理食塩液量					**1.1 mL**	
1バイアルの含有量	1回分	1回分	2回分	2回分	3回分	1回分

その “**場所**” その “**時**” に扱うワクチンの種類／対象者を
可能な範囲で限定することも有効な対策

基本的には「作業は中断しない・その場を離れない」だけれど・・・

どうしてもな時 にもひと工夫を

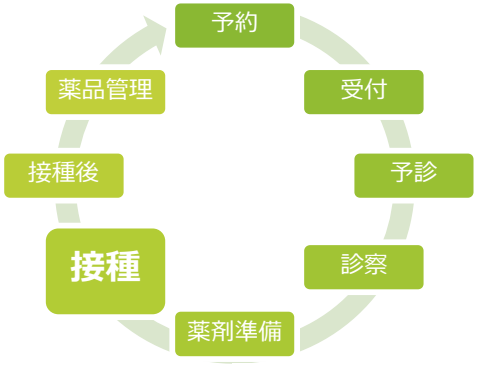


「準備中」であることがわかるようカードで注意書き

※基本的には**調整はひとりが**完遂、**確認は複数で** することで間違いを防ぐ

1. Right **drug**
2. Right **client**
3. Right **dose**
4. Right **time**
5. Right **route**
6. Right **reason**
7. Right **documentation**

接種時に



1．ワクチンの種類
　　・**有効期限・外観**

2．被接種者

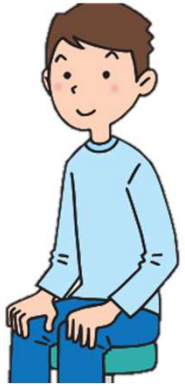
3．**接種量**・接種回数
　－種類ごとの接種量

4．接種年齢・接種間隔
　－過去接種ワクチンの種類・時期

5．**接種方法**



受付



被接種者・保護者



看護師



医師

使用済みシリンジを
必ず速やかに感染性廃棄物入れへ
入れられるようになっている？

「まさか・・・！」も起こりうる

【血液感染を起こしうる間違い事例の概要】

（2013～2016年度 予防接種間違い報告より）

使用済み接種器具を別の被接種者に使用

① 複数名分のワクチン・接種器具を同じトレーに用意

② **使用済み接種器具を廃棄容器に入れず、トレーに戻した**

③ 集団接種で対象人数分の接種器具を用意したが、終了後に
未使用の接種器具が１本余った

④ 集団接種終了後、使用済み接種器具の数が対象人数より少なかった

被接種者以外に触れた注射針を使用

① 接種医師・看護師の指に注射針が刺さった

② 被接種者を抱っこしていた保護者の指に注射針が刺さった

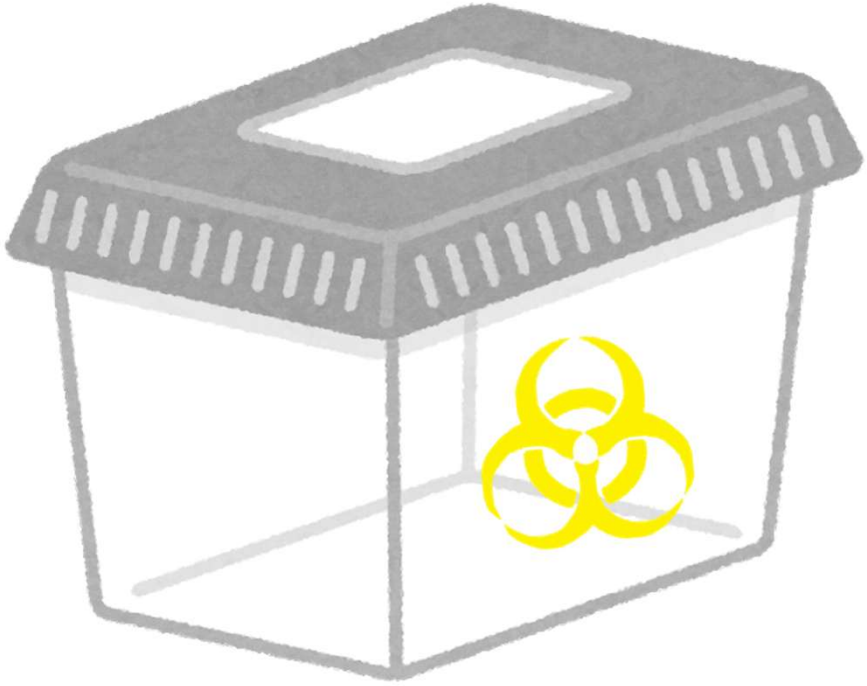
血液感染を起こしうる間違いを防ぐための

『ルール化』・『環境整備』

⓪リキャップしない

①針捨て容器を
　接種者の手が届く場所におく

トレー戻すよりも、
リキャップするよりも、
針捨てボックスへ入れやすい状況を作る



②使用済シリンジ／トレーと新しい充填シリンジ／トレー
　の**動線が交わらないようにする**

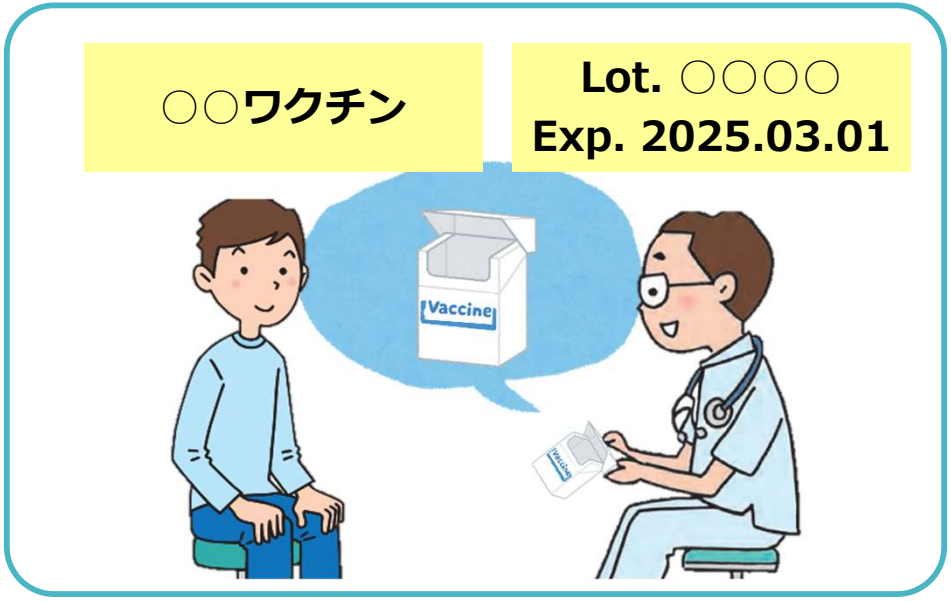
ワクチンの種類の間違いを防ぐ「ルール化」

- 接種医師の手元には、1人分のワクチンだけ用意する
  - 兄弟受診の際にも有効 ；接種ワクチンの入れ違いを防ぐため



1トレー**1**ワクチン

1人分のみ



種類＋有効期限

- 接種ワクチンの空き箱を接種前に被接種者／保護者にも見てもらいながら、ワクチン名と有効期限を確認

コミュニケーションも含めて一石何鳥もの確認ステップ

接種方法

も「見える化」

見える場所に
メモを貼って
おくだけで
確認にお役立ち

参考：
予防接種における間違いを防ぐために
より抜粋

【DT2 期】 1 回に**0.1mL** を皮下接種
【B 型肝炎】 10 歳未満は1 回に**0.25mL** を皮下接種（10 歳以上は1 回に0.5mL を皮下または筋肉内接種）
【日本脳炎1 期】 3 歳未満は1 回に**0.25mL**（3 歳以上は1 回に0.5mL）を皮下接種
【インフルエンザ（不活化）】
3 歳未満は1 回に**0.25mL**（3 歳以上は1 回に0.5mL）を皮下接種

【インフルエンザ（経鼻生）】
2 歳以上19 歳未満で 1 回に各鼻腔に0.1mL ずつ（合計0.2mL）、鼻腔内へ噴霧
【BCG】 管針を用いて**2 か所**に圧刺（経皮接種）
【ロタウイルス】[1 価] 1 回に**1.5mL** を経口接種 ／ **[5 価]** 1 回に**2.0mL** を経口接種

【HPV】 1 回に0.5mL を**筋肉内接種**
【帯状疱疹（組換え）】 1 回に0.5mL を**筋肉内接種**
（帯状疱疹予防目的で弱毒生水痘ワクチンを用いる場合は、1 回に0.5mL を**皮下接種**））

【肺炎球菌（PCV15：15 価結合型）】
18 歳未満は**皮下または筋肉内接種**（定期接種は 2 か月以上5 歳未満）
18 歳以上は**筋肉内接種**（対象は高齢者（65 歳以上）および肺炎球菌による疾患のハイリスク者）
【肺炎球菌（PCV20：20 価結合型）】
6 歳未満は**皮下または筋肉内接種**（定期接種は 2 か月以上5 歳未満）
6 歳以上は**筋肉内接種**（対象は高齢者（65 歳以上）および肺炎球菌による疾患のハイリスク者）

【5 種混合（DPT-IPV-Hib）】
1 回0.5mL を**皮下または筋肉内接種**

新しい剤形のワクチンの登場

経鼻弱毒生インフルエンザワクチン

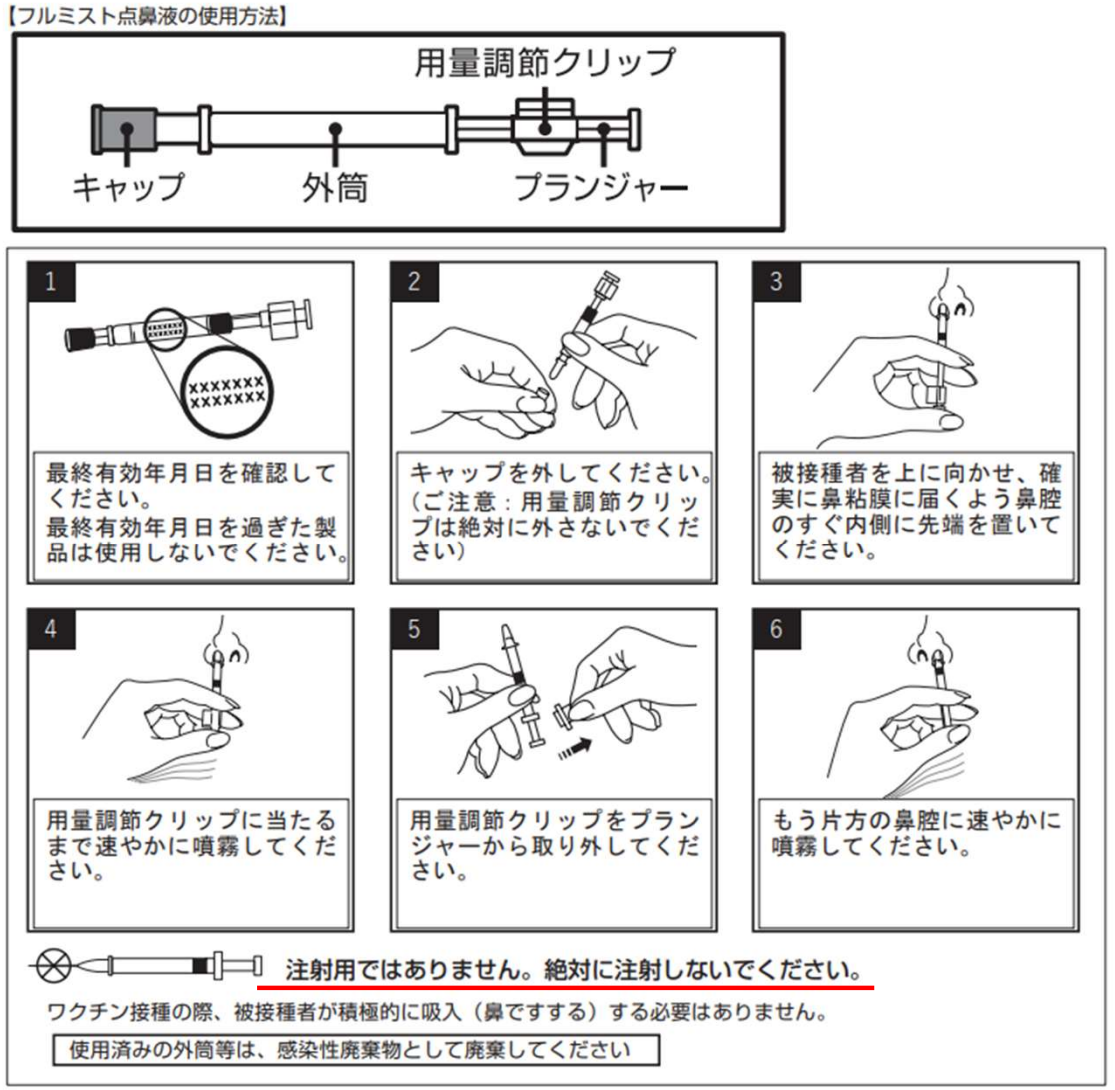
接種方法の事前確認を
※絶対に注射はしない

2024/25シーズンから開始予定

＜用法及び用量＞

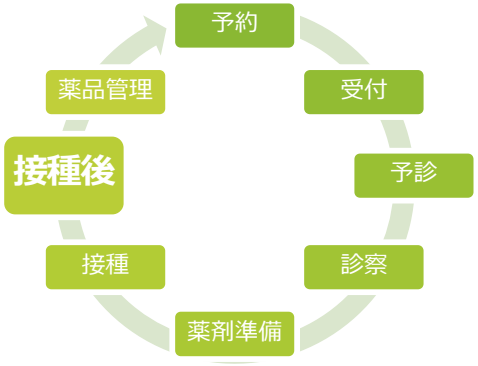
2歳以上19歳未満の者に、
0.2mLを1回
（各鼻腔内に0.1mLを 1噴霧）、
鼻腔内に噴霧する。

経鼻弱毒生インフルエンザワクチン
フルミスト点鼻液
第一三共株式会社
https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuDetail/ResultDataSetPDF/430574_631370AR1026_1_05



1. Right **drug**
2. Right **client**
3. Right **dose**
4. Right **time**
5. Right **route**
6. Right **reason**
7. Right **documentation**

接種後に



4．接種年齢・接種間隔

－次回接種ワクチンの種類・時期

7．記録

－接種済証の発行/母子健康手帳に必要事項の記載

－予診票の回収を確認

＋接種終了後の注意事項の説明
接種後15～30分程度待機してもらい経過観察



受付



被接種者・保護者



看護師



医師

接種スケジュールに関する間違い

接種間隔の間違い	接種回数の間違い
同じ種類のワクチンの間隔	同一ワクチンの過剰接種
異なる種類のワクチンの間隔	開始時期による回数の違い

接種スケジュールのひと工夫

✓ 本人・保護者との共有

接種スケジュール相談

次回接種時期の「見える化」

– 接種内容一覧メモ

– 母子健康手帳への付箋・メモ

✓ スケジュールの単純化

– 同時接種はひとつの方法

接種内容一覧メモ（の続き）

名前　○○　○○ 様　　年齢 **1歳 0か月**

予防接種日　［ **9 / 18** ］

接種ワクチン　（**MR ① みずぼうそう ①**）

（ ○ ）　生ワクチンなので次の接種まで
４週間以上あけてください。

（　　）　不活化ワクチンなので次の接種まで
１週間以上あけてください。

（　　）　生ワクチンと不活化ワクチンなので
次の接種まで４週間以上あけてください。

次の接種予定日　［ **10/ 16** ］

次の接種ワクチン　**おたふくかぜ ①**
（　　）

＜その他のお知らせ＞

みずぼうそうワクチンの２回目は１回目の接種から6～12か月後に接種しましょう。

次回接種時期 の「見える化」

予防接種の記録（４）

ﾜｸﾁﾝの種類 Vaccine		接種年月日 Y/M/D（年齢）	ﾒｰｶｰ／ﾛｯﾄ Manufacturer/ Lot.No.	接種者署名 Physician	備　考 Remarks
ジフテリア・破傷風 Diphtheria・Tetanus	第２期				
日本脳炎 Japanese Encephalitis	第２期				

ﾜｸﾁﾝの種類 Vaccine	接種年月日 Y/M/D（年齢）	ﾒｰｶｰ／ﾛｯﾄ Manufacturer/ Lot.No.	接種者署名 Physician	備　考 Remarks
B型肝炎 Hepatitis B	28.01.06		○○小児科	
	28.02.27		○○小児科	
ロタウイルス Rotavirus	2			
	2			

B型肝炎3回目は
5/26～6/23
の接種をおすすめします

母子健康手帳への付箋や書き込みで
次回接種時期を見える化

予防接種の記録（１）
Immunization Record

感染症から子ども（自分の子どもはもちろん、周りの子どもたちも）を守るために、予防接種は非常に効果の高い手段の一つです。子どもたちの健康を守るために予防接種の効果と副反応をよく理解し、子どもに予防接種を受けさせましょう。

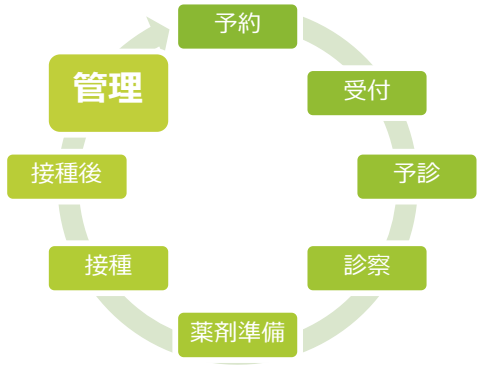
ﾜｸﾁﾝの種類 Vaccine		接種年月日 Y/M/D（年齢）	ﾒｰｶｰ／ﾛｯﾄ Manufacturer/ Lot.No.	接種者署名 Physician	備　考 Remarks
インフルエンザ菌b型 (Hib) Haemophilus type b	1回	28.01.06	○○○○○	○○小児科	左上腕 0.5mL
	2回	28.02.27	○○○○○	○○小児科	右上腕 0.5mL
	3回	28.04.02	○○○○○	○○小児科	左上腕 0.5mL
	追加				
小児肺炎球菌 Streptococcus pneumoniae	1回	28.01.06	○○○○○	○○小児科	右上腕 0.5mL
	2回	28.02.27	○○○○○	○○小児科	左上腕 0.5mL
	3回	28.04.02	○○○○○	○○小児科	右上腕 0.5mL
	追加				

ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ
Diphtheria・Pertussis・Tetanus・Polio

時　期		ﾜｸﾁﾝの種類 Vaccine	接種年月日 Y/M/D（年齢）	ﾒｰｶｰ／ﾛｯﾄ Manufacturer/ Lot.No.	接種者署名 Physician	備　考 Remarks
第1期初回	1回		28.02.27	○○○○○	○○小児科	右大腿 0.5mL
	2回		28.04.02	○○○○○	○○小児科	左大腿 0.5mL
	3回		28.05.20	○○○○○	○○小児科	
第1期追加						

1歳過ぎ 11/20以降に

薬品管理



✓ ワクチンの有効期限や保管状態を確認

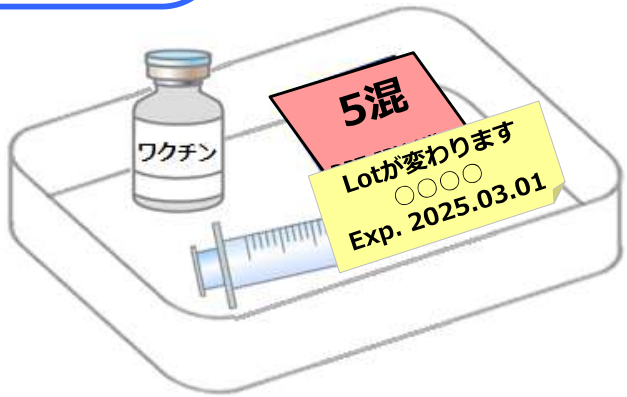
– 温度設定の確認（各ワクチンの添付文書で確認）
– 保管庫の温度記録
– 使用期限の確認



使用期限・ロット番号

の「見える化・ルール化」

– 有効期限が間近のワクチンのリストアップ
– 有効期限が近いロットを手前に置く
– 有効期限・ロット番号が切り替わる目印



薬品管理

要因を除いて未然に防ぐ

有効期限切れロットのワクチンを
保管庫に残さない

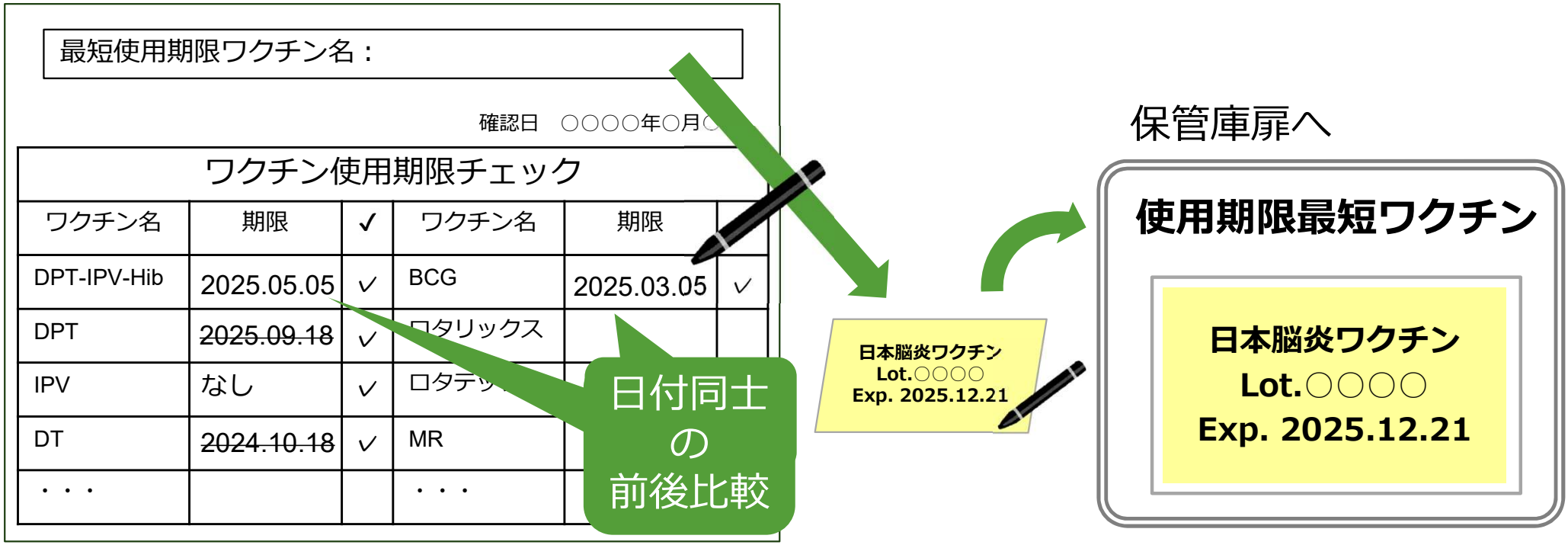
ための「見える化・ルール化」

薬品管理

有効期限切れロットのワクチンを残さない ための

保管庫への使用期限最短ワクチンとその期限の表示

- **毎朝、カードに記載されている日付が『今日でないこと』を確認**
- 新たに納品されたワクチンの期限がカード記載の日付より後であることを確認
- 使用期限最短ワクチンの期限日を迎えたとき　再チェック



ご紹介した主な「**見える化**」のまとめ

- ✓ **接種内容一覧メモ・次回接種時期の付箋**
  – 接種当日の確認作業の簡易化・ルール化　– スケジュールの見える化・共有
- ✓ **今回接種日起点で自動算出した日付と前回接種日の記録とを照合**
  – 必要な接種間隔が空いているかを「日付同士」で確認，計算は事前にExcel活用
- ✓ **予診票チェックポイントのハイライト**
  – 接種不適当者に該当しないか、年齢等の確認
- ✓ **予診票ファイルのカラーリング**
  – 兄弟受診時の被接種者の明確化
- ✓ **原則、1トレー 1 ワクチン**
- ✓ **ワクチンの種類・接種量カード、接種量・接種方法を見えるところへ掲示**
  – 確認作業の簡易化・確認ポイントの見える化
- ✓ **ワクチンの空き箱も確認作業に活用**
  – ワクチンの種類、有効期限を被接種者と一緒に最終確認
- ✓ **接種後シリンジの動線　廃棄物入れをすぐそばに**
  – 使用済みシリンジを接種後直ちに廃棄・ワクチンのシリンジの動線は一方向
- ✓ **スケジューリング**
  – スケジュールの単純化、次回接種時の間違いの予防
- ✓ **保管庫の扉に使用期限最短のワクチン名・期限を貼っておく**
  – 使用期限を見える化し、期限が「今日でない」確認　期限切れワクチンを残さない

謝 辞

崎山小児科　崎山 弘 先生



<内容>

・実際にあった間違い事例

・予防接種における確認のポイント

・予防接種の具体的な流れ（例）

・予防接種で間違いがあった場合の対応（例）

・各ワクチンの接種方法など
  - 小児における定期接種のワクチン
  - 成人における定期接種のワクチン
  - 任意接種のワクチン

・国内で使用可能なワクチン・トキソイド一覧

2026年4月改訂版を掲載しました

※PDFファイルがダウンロード可能です

【JIHS国立感染症研究所HP】
https://id-info.jihs.go.jp/immunization/machigaiboushi_202604.pdf



ご清聴ありがとうございました

事前にいただいたご質問

一般内科の標榜診療所や保健センター等、
平時は小児科専門診療を行っていない場において、
小児の定期接種を実施する場合の準備物など推奨
があれば知りたいです。